

令和5年度新規採択要望箇所 説明資料



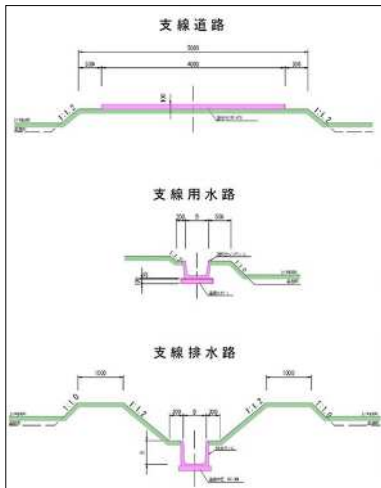
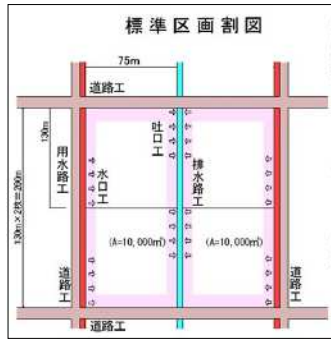
令和4年11月7日
富山県 農林水産部

県営農地整備事業 羽根一期地区 (富山市婦中町羽根ほか地内)

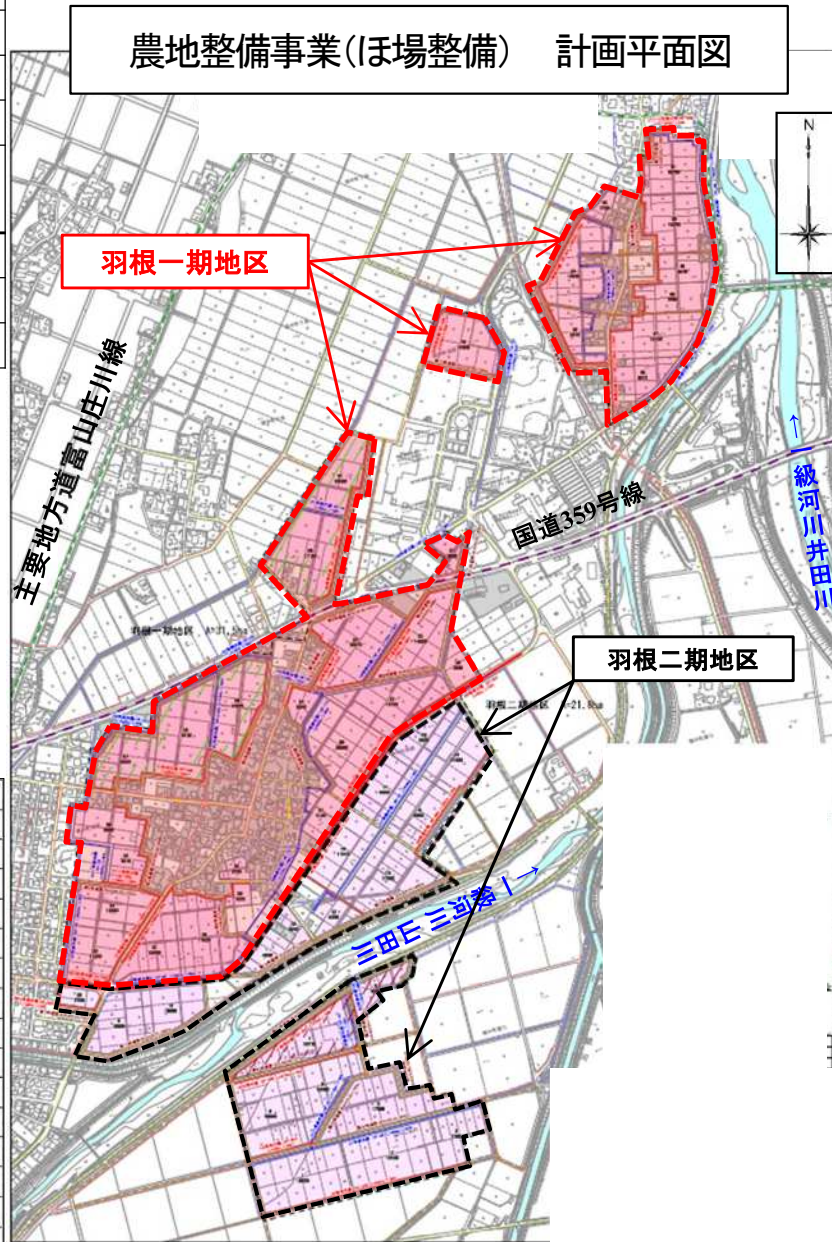
事業名	県営農地整備事業
受益面積	31.5ha
事業内容	区画整理(大区画化) 31.5ha、暗渠排水 7.0ha
総事業費	16億7千万円
事業期間	令和5年度～令和13年度(9年間)

位置図、事業概要

地区名	羽根一期地区(富山市婦中町羽根ほか地内)			
予定工期	R5~R13			
受益面積	31.5ha			
総事業費	16億7千万円			
主要工事	区画整理(大区画化) 31.5ha 暗渠排水 7.0ha			
関係土改	婦負郡藤ヶ池土地改良区			
負担割合	国	県	富山市	地元
	55.0%	27.5%	11.0%	6.5%



記号	名称	備考
(虚線)	事業計画区域 A=53.3ha	
(点線)	区画整理	
(斜線)	暗渠排水工区域	
(斜線)	客土工区域	
(赤線)	計画用水路	
(青線)	計画排水路	
(赤点線)	既設用水路	
(青点線)	既設排水路	
(黄線)	計画道路	
(黄点線)	既設道路	
(紫線)	国道	
(緑線)	県道	
(黄線)	市道	
(青線)	河川	



区画状況(10a→1ha)



土水路



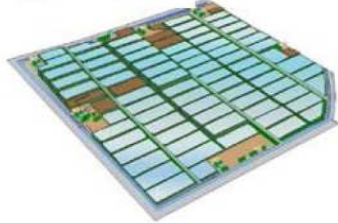
狭小な農道(2.0m→5m)

事業の必要性①

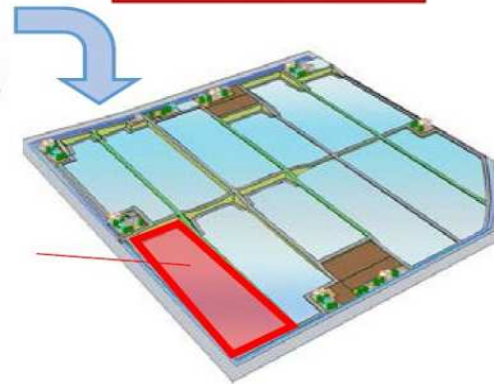
◆ 農業競争力の強化のための担い手の体質強化・産地収益力の向上

- 農地の大区画化等や省力化技術の導入による生産コストの削減
- 農業生産の拡大・多様化による収益の増大

<整備後のイメージ>



ほ場の大区画化

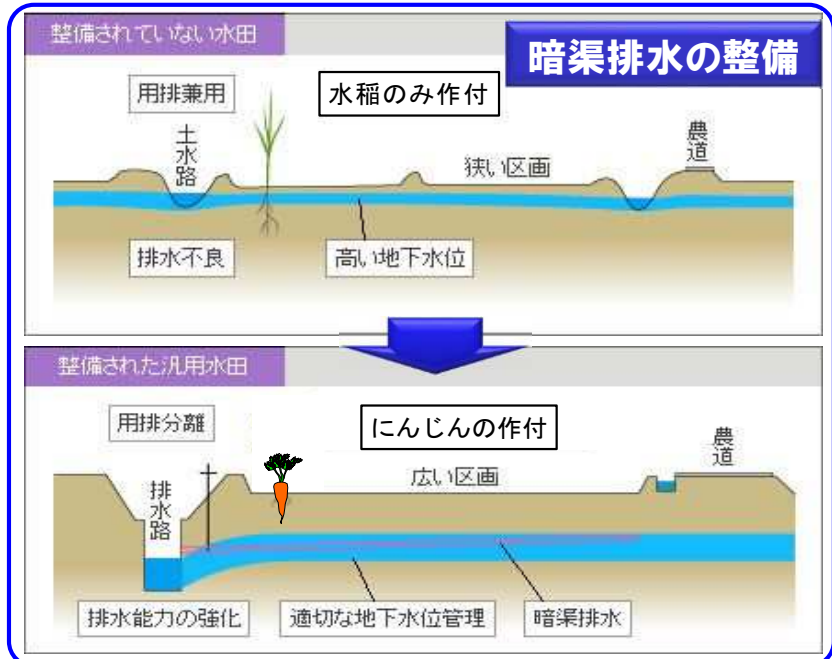


大型農業機械の導入が可能な大区画を創出



現況 10a (20m × 50m)

計画 1.0ha (75m × 130m)



にんじんの収穫作業

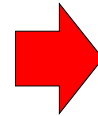
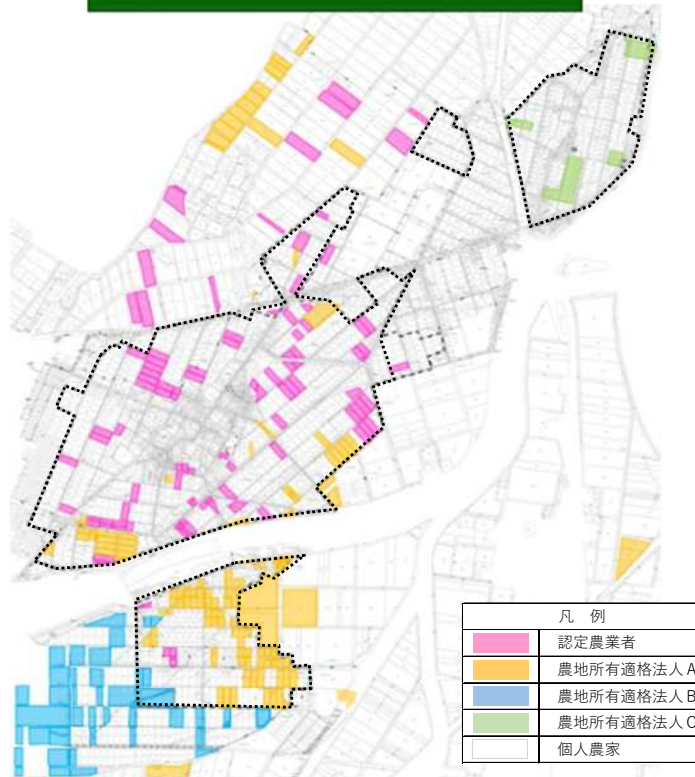


大型機械の導入による米の生産コストの削減、営農労働時間の軽減により、新たに生み出された時間を活用して、「**にんじん**」を栽培。
また、暗渠排水等による土地条件の改善により、営農の大型機械化、作物の生育環境改善。

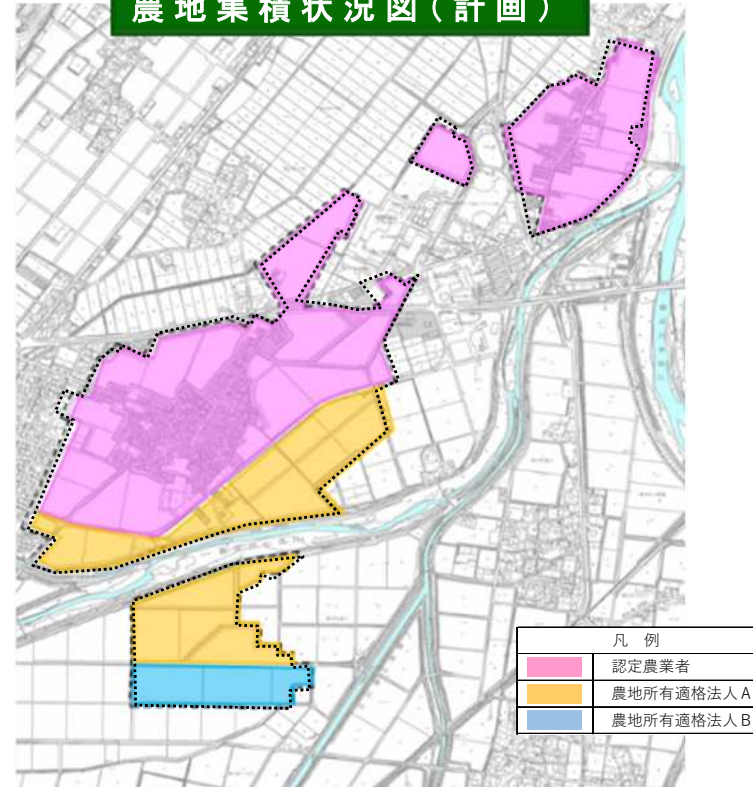
事業の必要性②

○農業経営の法人化、担い手への農地の集積・集約化の促進

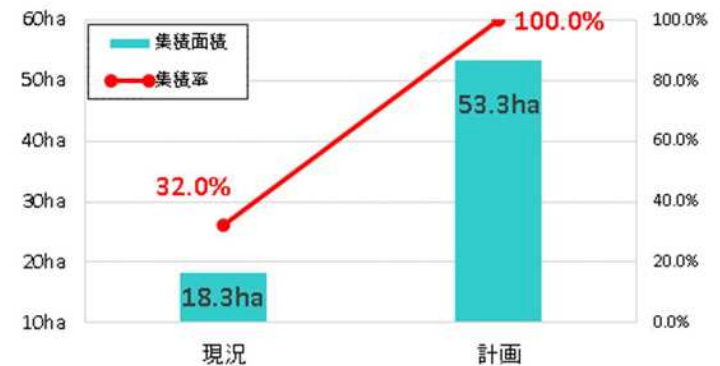
農地集積状況図（現況）



農地集積状況図（計画）



○担い手の経営面積・農地集積率



	現況	計画
経営体育成	法人3、認定1、個人122	法人2、認定1、個人0
農地集積率	32.0%	100%
標準区画	10a (20m×50m)	1.0ha (75m×130m)

※羽根地区全体（一期、二期）

事業の投資効果、推進体制など

○事業の合意形成

・富山市羽根集落が中心となり、農地集積に向けた検討や整備内容について、地域の合意形成を図る

- ・農地の大区画化等の整備と経営体の育成・支援を一体的に実施すること
- ・事業を契機として、担い手へ農地を100%集積(現在32.0%)すること 等

○投資効果

◆ 費用便益比(B/C) 1.34

〈見込まれる効果〉

・作物生産効果、営農経費節減効果、景観・環境保全効果 等

○推進体制

- ・富山市、婦負郡藤ヶ池土地改良区ら要望
- ・羽根農地整備委員会(R3.2月設立)、婦負郡藤ヶ池土地改良区、富山市、JAあおば、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。

県営農地整備事業 こぎか 小坂二期地区 (南砺市小坂ほか地内)

事業名	県営農地整備事業
受益面積	40.7ha
事業内容	区画整理(大区画化) 40.7ha、暗渠排水 8.1ha
総事業費	14億1千万円
事業期間	令和5年度～令和12年度(8年間)

位置図、事業概要

地区名	小坂二期地区(南砺市小坂ほか地内)			
予定工期	R5~R12			
受益面積	40.7ha			
総事業費	14億1千万円			
主要工事	区画整理(大区画化) 40.7ha 暗渠排水 8.1ha			
関係土改	南砺市土地改良区			
負担割合	国	県	南砺市	地元
	55.0%	27.5%	11.0%	6.5%

凡例		
記号	名称	備考
---	市町村界	
---	事業計画区域 A=86.7ha	
---	区画整理(田) A=86.7ha	
---	区画整理(畑) A= ha	
---	暗渠排水工 A=12.9ha	
---	ファームポンド	
---	計画用水路	
---	計画排水路	
---	既設用水路	
---	既設排水路	
---	計画道路	
---	既設利用道路	
---	国道	
---	県道	
---	市道	
---	河川	

農地整備事業(ほ場整備) 計画平面図



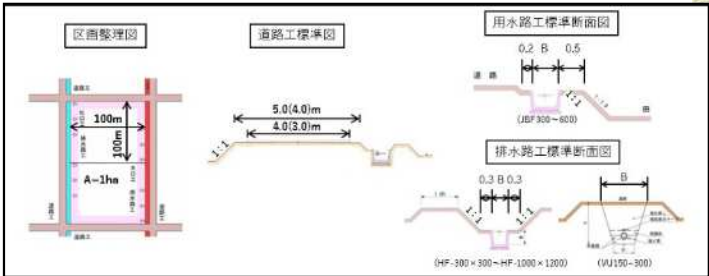
区画状況(30a→1ha)



用排水路からの漏水状況



狭小な農道(2.5m→5m)

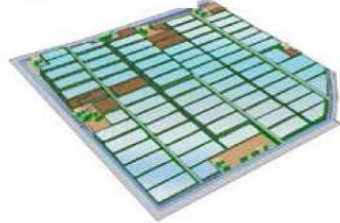


事業の必要性①

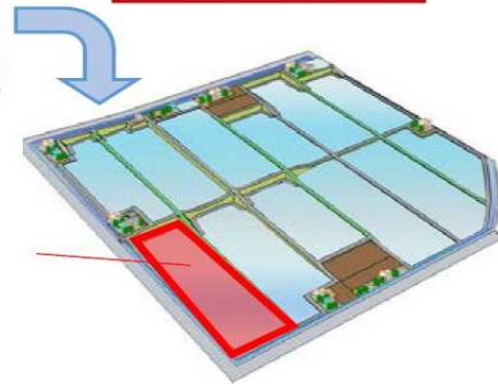
◆ 農業競争力の強化のための担い手の体質強化・産地収益力の向上

- 農地の大区画化等や省力化技術の導入による生産コストの削減
- 農業生産の拡大・多様化による収益の増大

<整備後のイメージ>



ほ場の大区画化

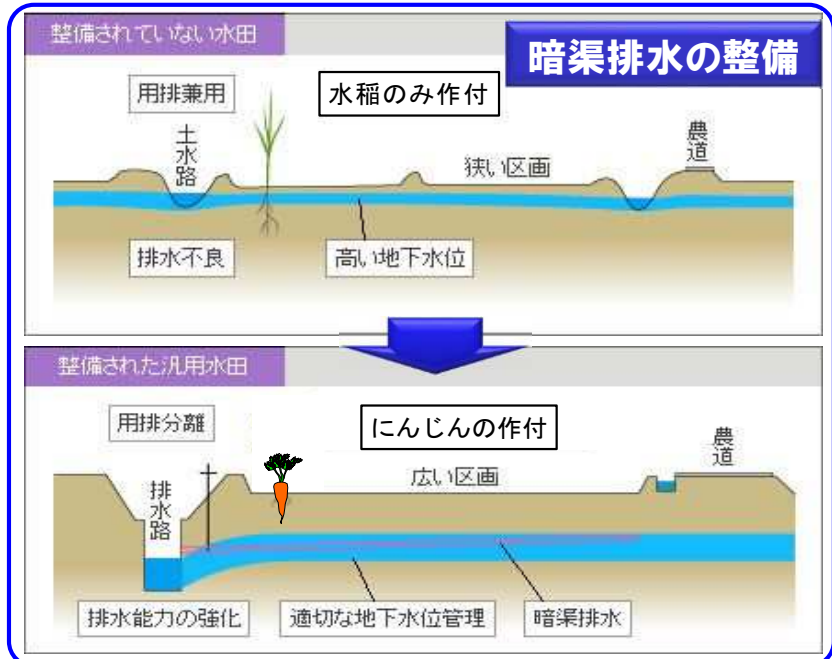


大型農業機械の導入が可能な
大区画を創出



現況 30a (30m × 100m)

計画 1.0ha (100m × 100m)



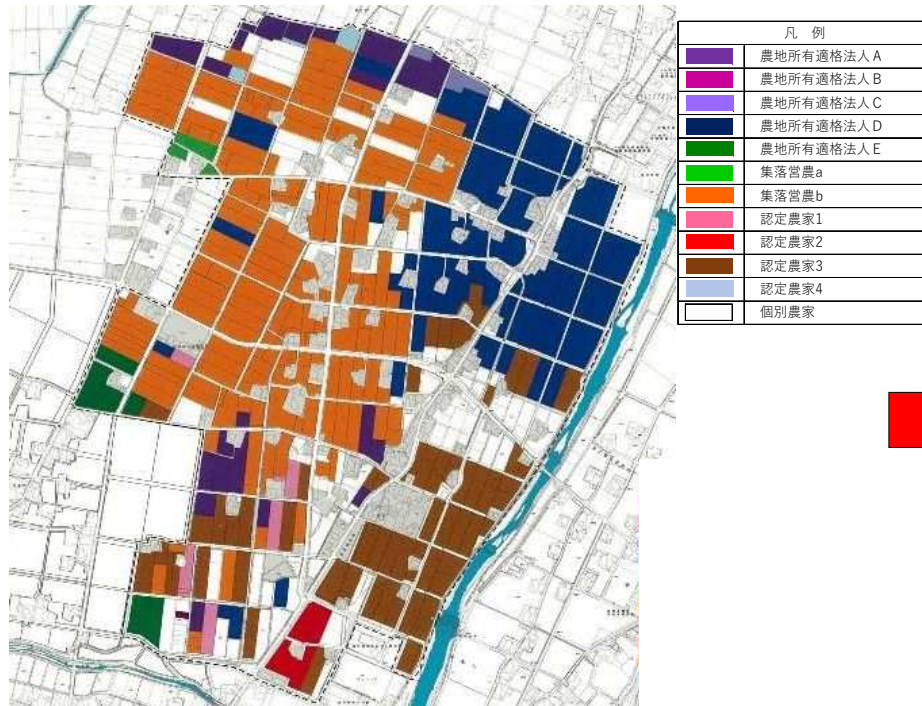
大型機械の導入やICTを活用した自動給水栓の設置による米の生産コストの削減、営農労働時間の軽減により生み出された時間を活用して、新たに「**にんじん**」を栽培。

また、暗渠排水等による土地条件の改善により、営農の大型機械化、作物の生育環境改善。

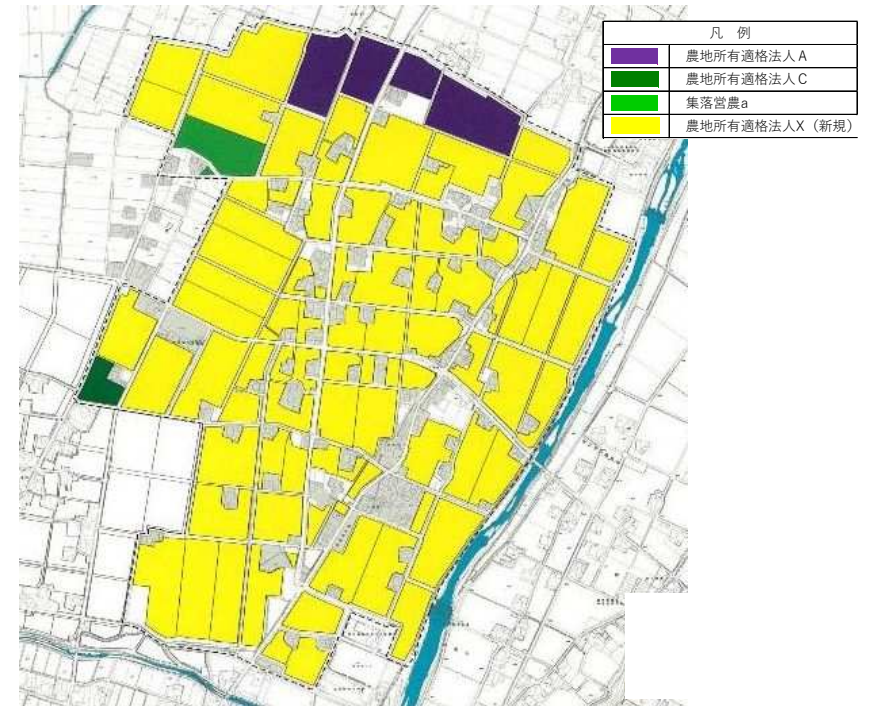
事業の必要性②

○農業経営の法人化、担い手への農地の集積・集約化の促進

農地集積状況図（現況）



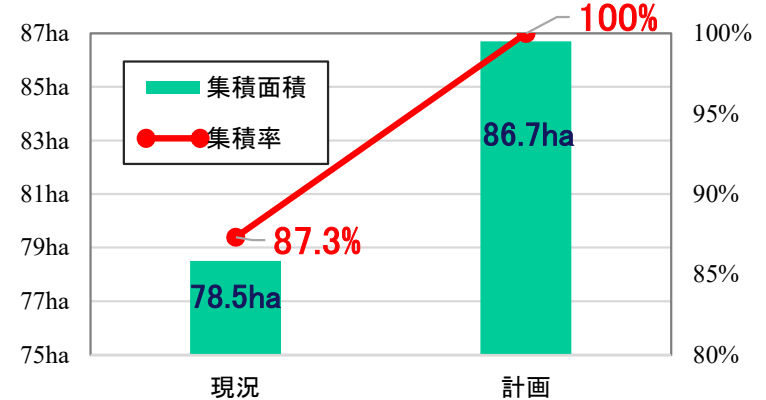
農地集積状況図（計画）



	現況	計画
経営体育成	法人5、集落2、認定2、個人15	法人4、集落0、認定0、個人0
農地集積率	87.3%	100%
標準区画	30a (30m×100m)	1.0ha (100m×100m)

※小坂地区全体（一期、二期）

○担い手の経営面積・農地集積率



事業の投資効果、推進体制など

○事業の合意形成

・南砺市小坂集落が中心となり、農地集積に向けた検討や整備内容について、地域の合意形成を図られている

- ・農地の大区画化等の整備と経営体の育成・支援を一体的に実施すること
- ・事業を契機として、担い手へ農地を100%集積(現在87.3%)すること 等

○投資効果

◆ 費用便益比(B/C) 1.15

〈見込まれる効果〉

・作物生産効果、営農経費節減効果、景観・環境保全効果 等

○推進体制

・南砺市、南砺市土地改良区から要望

・小坂農地整備地区委員会(R3.9月設立)、南砺市土地改良区、南砺市、JA福光、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。

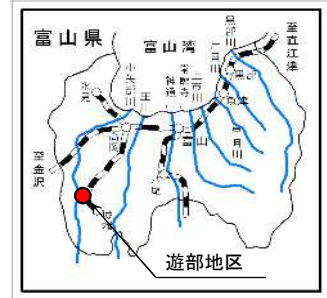
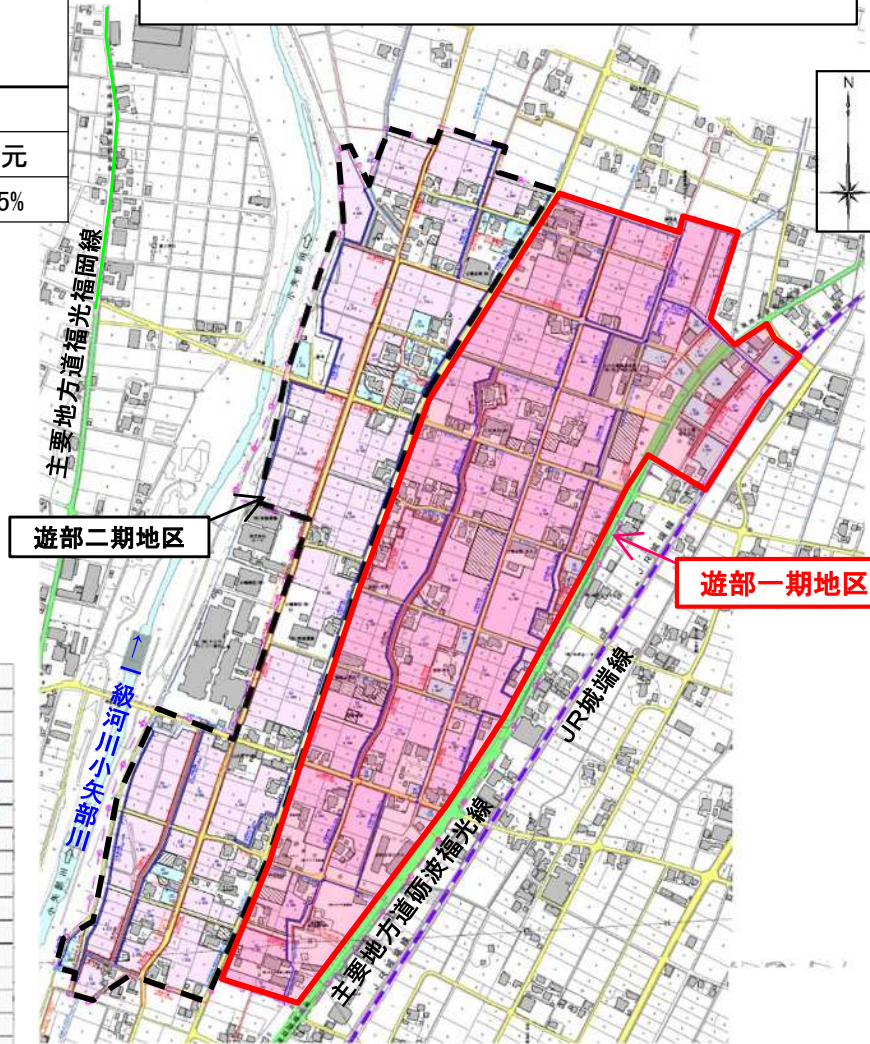
県営農地整備事業 ^{あそぶ} 遊部一期地区 (南砺市遊部ほか地内)

事業名	県営農地整備事業
受益面積	22.4ha
事業内容	区画整理(大区画化) 20.6ha、客土 22.4ha
総事業費	12億2千万円
事業期間	令和5年度～令和13年度(9年間)

位置図、事業概要

地区名	遊部一期地区(南砺市遊部ほか地内)			
予定工期	R5~R13			
受益面積	22.4ha			
総事業費	12億2千万円			
主要工事	区画整理(大区画化) 20.6ha 客土 22.4ha			
関係土改	南砺市土地改良区			
負担割合	国	県	南砺市	地元
	55.0%	27.5%	11.0%	6.5%

農地整備事業(ほ場整備) 計画平面図



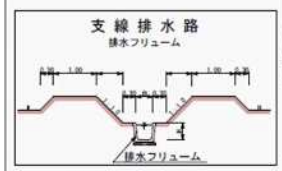
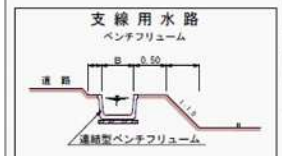
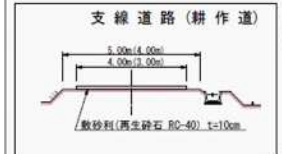
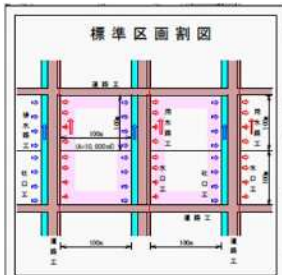
区画状況(10a→1ha)



用水路劣化状況(目地欠損)



耕土厚不足 (t≒15cm<20cm)



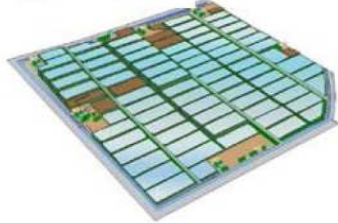
記号	説明	備考
(Pink outline)	事業計画区域	
(Pink fill)	区画整理受益	A=38.0ha
(Light blue fill)	用水路受益	A=2.7ha
(Black outline)	盛土工	A=40.7ha
(Hatched fill)	客土工	A=40.7ha
(Yellow line)	計画道路	
(Red line)	計画用水路	
(Blue line)	計画排水路	
(Dashed blue line)	既設水路	
(Dashed red line)	既設用水路	
(Dashed green line)	既設排水路	
(Green line)	県道	
(Yellow line)	市道	
(Purple line)	鉄道	
(Cyan line)	河川	

事業の必要性①

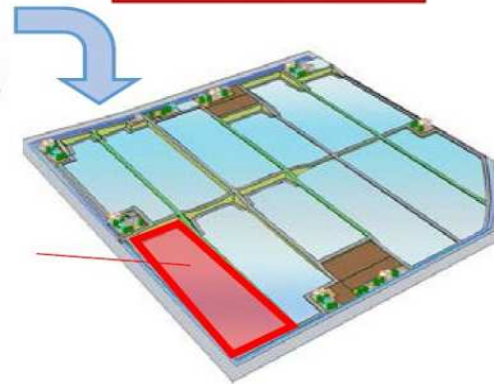
◆ 農業競争力の強化のための担い手の体質強化・産地収益力の向上

- 農地の大区画化等や省力化技術の導入による生産コストの削減
- 農業生産の拡大・多様化による収益の増大

<整備後のイメージ>



ほ場の大区画化



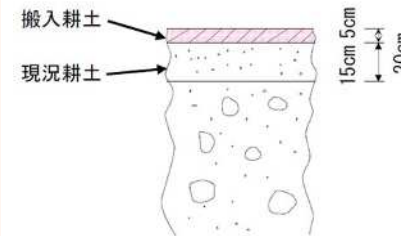
大型農業機械の導入が可能な
大区画を創出



現況 10a (20m × 50m)

計画 1.0ha (100m × 100m)

客土工



現況 耕土厚 15cm

計画 耕土厚 20cm

地区全域において、耕土厚が薄いため、客土工を行い耕土厚を確保。



たまねぎの収穫・選別作業



自動給水栓

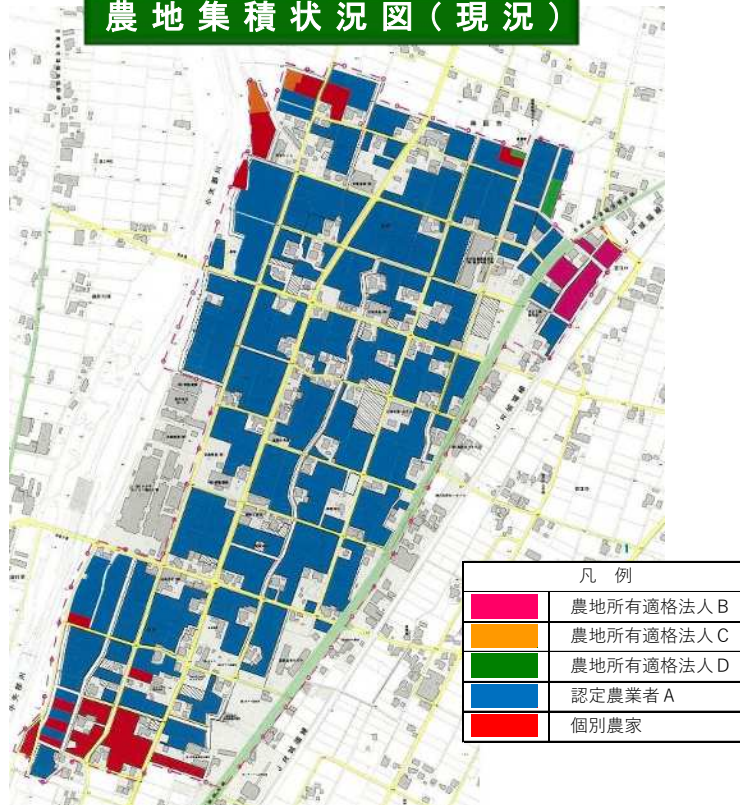
大型機械の導入やICTを活用した自動給水栓の設置による米の生産コストの削減、営農労働時間の軽減により生み出された時間を活用して、「たまねぎ」「にんじん」の作付を拡大。

また、客土工による農地の汎用化を行い、作物の単収・品質向上を図る。

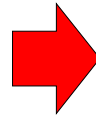
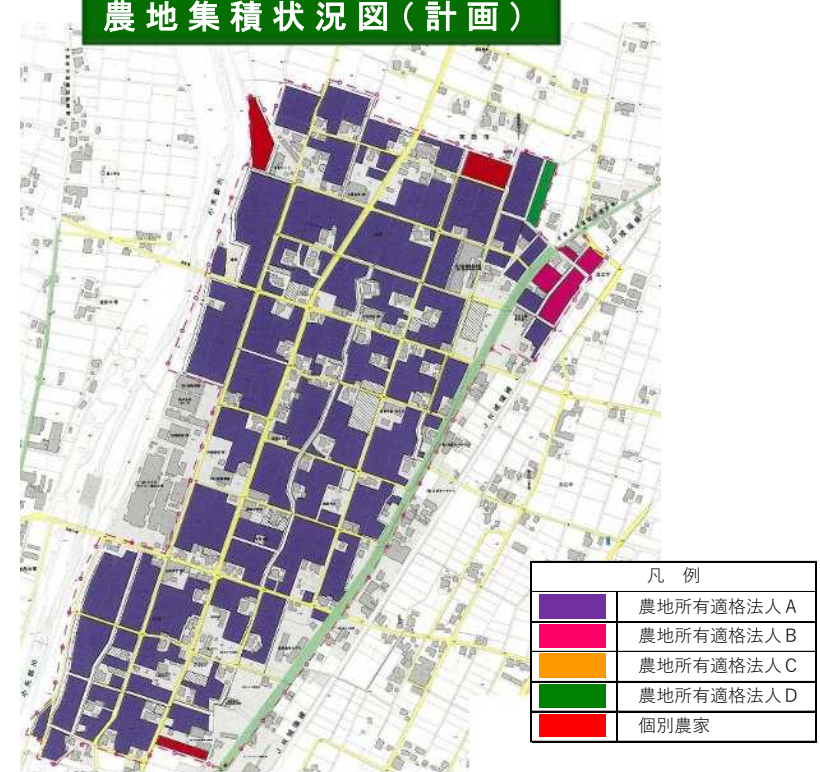
事業の必要性②

○農業経営の法人化、担い手への農地の集積・集約化の促進

農地集積状況図（現況）



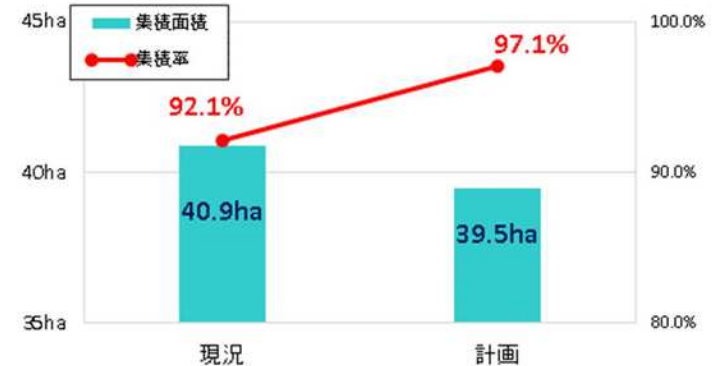
農地集積状況図（計画）



	現況	計画
経営体育成	法人3、認定1、個人4	法人3、認定0、個人2
農地集積率	92.1%	97.1%
標準区画	10a (20m×50m)	1.0ha (100m×100m)

※遊部地区全体（一期、二期）

○担い手の経営面積・農地集積率



事業の投資効果、推進体制など

○事業の合意形成

・南砺市遊部集落が中心となり、農地集積に向けた検討や整備内容について、地域の合意形成を図る

- ・農地の大区画化等の整備と経営体の育成・支援を一体的に実施すること
- ・事業を契機として、担い手へ農地を97.1%集積(現在92.1%)すること 等

○投資効果

◆ 費用便益比(B/C) 1.13

〈見込まれる効果〉

・作物生産効果、営農経費節減効果、景観・環境保全効果 等

○推進体制

・南砺市、南砺市土地改良区から要望

・遊部地区農地整備事業推進委員会(R4.3月設立)、南砺市土地改良区、南砺市、JA福光、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。

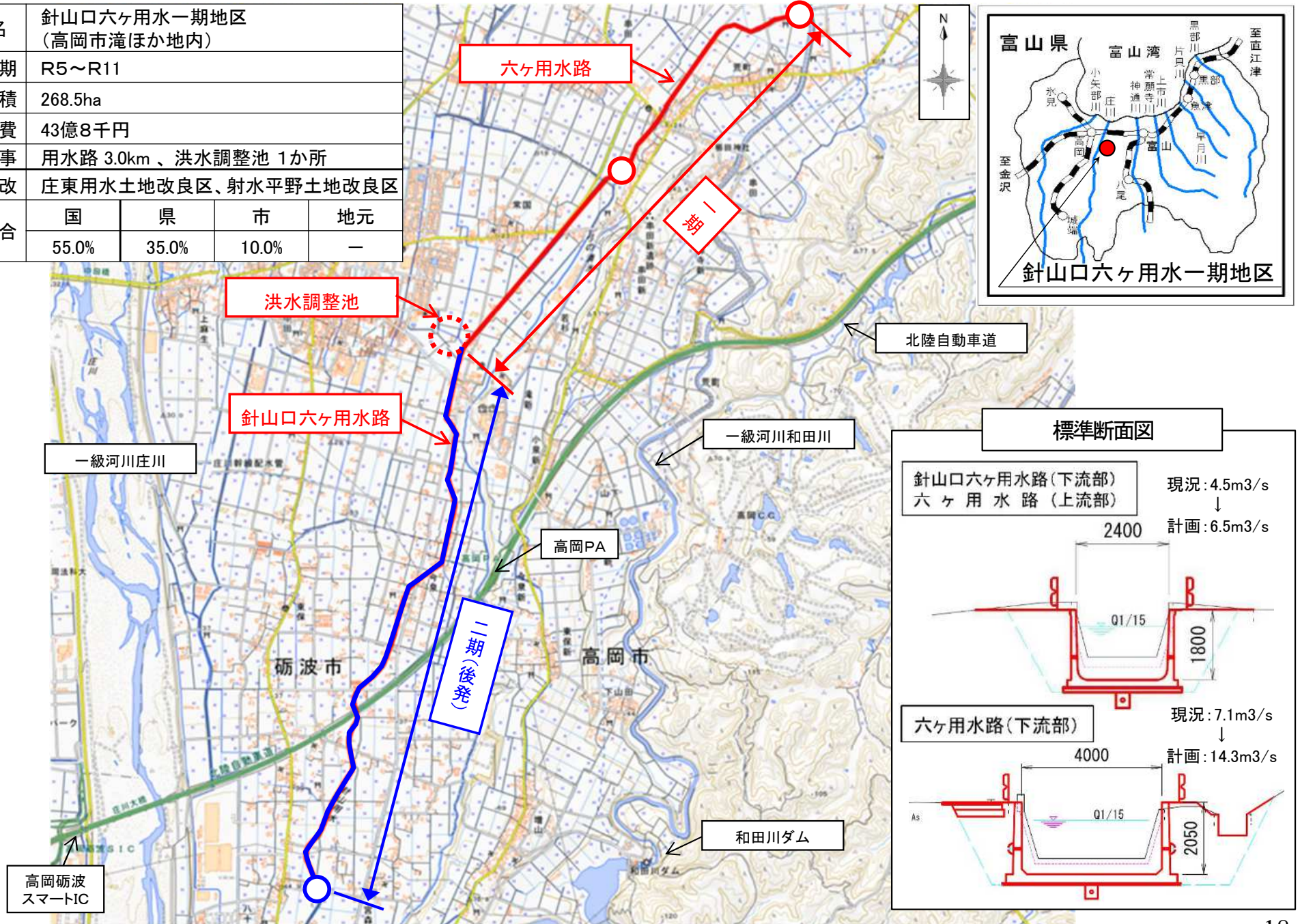
はりやまぐち ろっかようすい いっき

針山口六ヶ用水一期地区 (高岡市滝ほか地内)

事業名	県営農村地域防災減災事業(用排水施設等整備事業)
受益面積	268.5ha
事業内容	用水路工 L=3.0km、洪水調整池 1か所
総事業費	43億8千万円
予定工期	令和5年度～令和11年度(7年間)

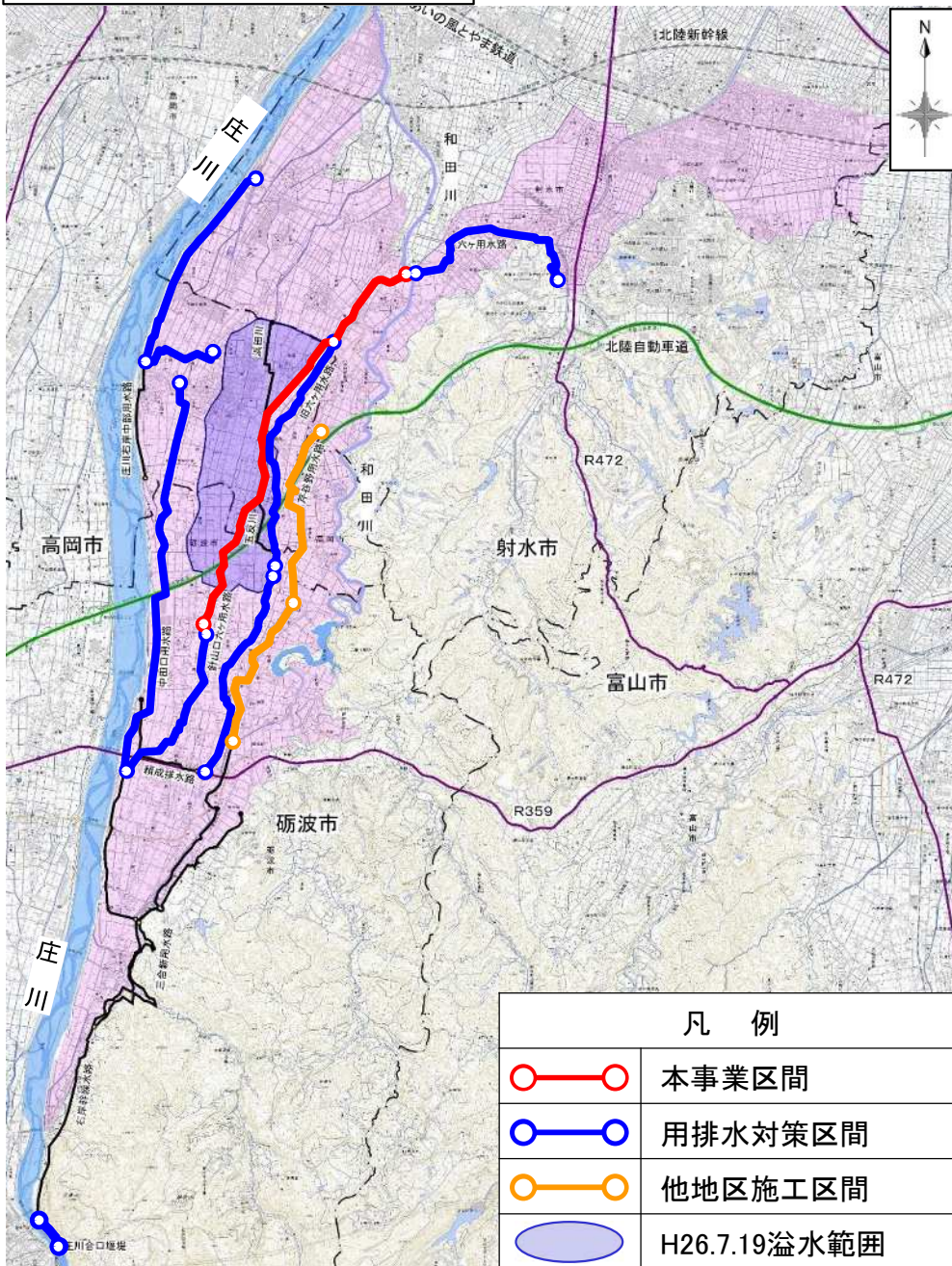
位置図、事業概要

地区名	針山口六ヶ用水一期地区 (高岡市滝ほか地内)			
予定工期	R5~R11			
受益面積	268.5ha			
総事業費	43億8千円			
主要工事	用水路 3.0km、洪水調整池 1か所			
関係土改	庄東用水土地改良区、射水平野土地改良区			
負担割合	国	県	市	地元
	55.0%	35.0%	10.0%	—



事業の必要性①

庄川右岸地域用排水対策位置図



H26年7月豪雨の洪水被害状況(H26年7月21日富山新聞)

瞬く間に道路冠水

67棟が床下浸水し、県内に最も被害が多かった高岡市では20日、砺波の川下に当たる中田、戸出両地区に大量の濁流が流れ込んだ。行き場を失った水は学校のグラウンドを水浸しにし、収穫直前の畑が冠水した農家は心配そうに作物を見詰めた。「いつになったら水が引くんだ」。住民は水害の恐ろしさを目の当たりにし、無言で泣きだした。「50年以上住んでいるがこんな大雨は初めて。浸水で停電にもなった」。自宅が床下浸水した中田の男性(55)は困惑した表情を浮かべた。



に気付いた住民もいた。車は「外に出てみると道が水庫が水に漬かった男性(75)であふれていて驚いた」と。

中田、戸出で被害大 高岡 収穫直前の畑も

中田地区では周囲の用排水路から水があふれ出し、広さ約600平方メートルのグラウンドが30〜40センチの高さまで漬かった。水は玄関先まで迫り、川辺勝位校長は「想定を越えた事態。校舎が水に浸る寸前だった」と話した。

中田、戸出地区の農耕地帯では水が30センチ、大豆15畝ほどは12種類の田畑計約40畝が被害を受けた。中田地区で農業を営む北陸営農組合によると、21日に収穫を予定していたトウモロコシ畑40アガ水浸しとなり、雨で茎が倒れた。種を植えたばかりのニンジン畑1畝も冠水した。島崎直樹

グラウンド水浸し



代表理事は「手間を掛けて育てた作物が出荷できるか不安だ」と話した。中田地区の山田などでは土砂崩れが35カ所確認され、島新、今泉では用排水路や水田のり面が決壊した。戸出オフィスパークでは用水の水門が枯れ草などで詰まり、道路に水が漏れた。

市は浸水被害のあった地域に石灰を配布し、中田コミニティセンターに避難

水を引いた高岡市中田小学校グラウンドは20日午前7時20分、高岡市内

所を開設した。戸出地区では人が公民館に自主避難した。高橋正樹市長が現地を視察した。

事業の必要性②



針山口六ヶ用水路 溢水状況(H26年7月豪雨)



農地の湛水状況(H26年7月豪雨)



用水路の劣化状況

事業の投資効果、推進体制など

○投資効果

◆ 総費用総便益比(B/C) 1.54

※農地・農業用施設、家屋等への被害軽減額、受益地の作物生産を維持する効果等による便益を計上

○推進体制

・令和3年8月に「庄川右岸地域用排水対策促進協議会」を設立し、事業実施の促進、施策提案、関係機関の連絡調整を実施

関係市：高岡市、砺波市、射水市、富山市

関係土地改良区：庄東用水土地改良区、射水平野土地改良区、高岡市土地改良区、
砺波市土地改良区、大門町土地改良区、
庄川沿岸用水土地改良区連合